

個別医療機関ごとの具体的な対応方針 に係る調査結果について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

国から求められている議題と対応について

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）抜粋

地域医療構想の達成に向けて、「個別の病院名や転換する病床数等の具体的な対応方針の速やかな策定に向けて、2年間程度で集中的な検討を促進する」とこととされていることを踏まえ、**都道府県においては、毎年度この具体的な対応方針をとりまとめること。**

この具体的な対応方針のとりまとめには、地域医療構想調整会議において、平成37(2025)年における役割・医療機能ごとの病床数について**合意を得た**全ての医療機関の

- ① 平成37(2025)年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
- ② 平成37(2025)年に持つべき医療機能ごとの病床数

を含むものとする。

なお、**平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たっては、各都道府県における具体的な対応方針のとりまとめの進捗状況についても考慮することとする。**

御協力いただいた調査内容

個別医療機関ごとの 具体的な対応方針に関すること

- 2025年を見据えた役割(5疾病5事業及び在宅医療等)
- 2025年における病床機能（予定）
- 2025年に向けた施設設備に当たる補助金の活用予定
- 過剰な病床機能への転換理由等(該当医療機関のみ)

病床がすべて稼働して いない病棟に関すること

- 稼働していない理由
- 非稼働病棟の今後の運用見通しに関する計画

その他（会議での報告なし）

- 地域医療に係る課題や地域で検討したい課題

本調査の位置づけについて

- 地域医療構想達成に向けて過剰とされている病床機能への転換や増床が、直ちに否とされるものではない。
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、2025年に向けて地域の実情に応じて随時見直されることも想定している。



地域において協議し合いながら合意を得ていくことが重要

本会議において、取りまとめた調査結果を資料等により提示し協議し合ったことで、地域医療構想調整会議にて、

「2025年における役割・医療機能ごとの病床数について合意を得た」

ものとして国に報告し、求められている議題への対応とする。

平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たり、各都道府県における具体的対応方針のとりまとめの進捗状況 についても国から考慮される。

調査結果概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 県内で調査対象とした427医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）のうち、416箇所から回答を得た（回答率97.4%）。
- 本圏域の回答率は96.4%であった。

【集計結果一覧】

※下表「2017」欄はH29年度病床機能報告の結果、「2018」及び「2025」欄は本調査結果の集計数を計上している（廃止・休業を除く）

	調査依頼 医療機関数			回答率 (%)			回答率								休棟等		移行 予定		
							高度急性期		急性期		回復期		慢性期					計	
	病院	有床診	病院	有床診	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2025		
千葉	76	41	35	93.4	90.2	97.1	1,073	1,076	3,974	3,944	978	1,098	1,622	1,637	7,647	7,755	197	91	100
東葛南部	91	51	40	98.9	100	97.5	1,796	1,844	5,588	5,614	1,739	1,984	2,127	1,827	11,250	11,269	290	59	360
東葛北部	78	51	27	100	100	100	2,008	2,096	4,773	4,881	1,135	1,330	1,904	2,030	9,820	10,337	48	45	0
印旛	47	27	20	93.6	96.3	90.0	1,168	1,150	2,313	2,415	547	484	1,445	1,501	5,473	5,550	334	9	0
香取海匠	27	18	9	96.3	94.4	100	64	64	1,698	1,627	169	241	822	662	2,753	2,594	148	80	148
山武長生夷隅	36	22	14	100	100	100	20	20	1,534	1,622	412	432	1,293	1,240	3,259	3,314	197	70	48
安房	25	14	11	100	100	100	152	152	1,198	1,133	99	176	717	647	2,166	2,108	46	25	60
君津	28	18	10	96.4	94.4	100	492	492	981	1,002	191	191	847	826	2,511	2,511	2	0	0
市原	19	11	8	100	100	100	100	100	1,404	1,434	391	357	216	216	2,111	2,107	64	61	0
計	427	253	174	97.4	97.2	97.7	6,873	6,994	23,463	23,672	5,661	6,293	10,993	10,586	46,990	47,545	1,326	440	716

「2018」欄に含まれない病床数(本調査未回答等)：千葉380 東葛南部39 印旛240 香取海匠233 安房9 君津65

「2025」欄に含まれない病床数(本調査未回答等+未開設医療機関)：千葉771 東葛南部720 東葛北部617 印旛1,062 香取海匠233 山武長生夷隅19 安房28 君津67

調査結果概要②

～2025年における病床機能転換等予定～

○ 過剰とされている病床への増床を予定している医療機関は、県内で48（病院39・診療所9）箇所だった。

- 君津圏域は、1医療機関から、過剰とされる機能（急性期病床）の増床を予定しているとの報告があった。
- 過剰病床への転換理由は以下のとおり。
現段階で休棟(床)している病床の再稼働

調査結果概要③

～病床が全て稼働していない病棟について～

○ 報告の時点で病床が全て稼働していない病棟がある医療機関は、県内で65（病院40・診療所25）箇所だった。

- 君津圏域では、3箇所（病院1・診療所2）の医療機関において病床が全て稼働していない病棟があると報告された。
- 4病棟の内、3箇所が再稼働予定、1箇所は未定で報告された。
- なお再稼働する3病棟のうち、2病棟は急性期の病棟として稼働させる方針となっており、1病棟については再稼働の方針について未回答であった。

2025年に担う役割と機能別病床

【君津保健医療圏】

No.	医療機関名	2025年に担う役割（予定を含む）										2018年と2025年の機能別病床数										備考						
		がん	脳卒中	心臓病	糖尿病	精神疾患	救急	災害	産科	小児	在宅	その他	補足	高度急性期		急性期		回復期		慢性期			計		休療等	移行予定		
														2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025		2018	2025			2018	2025
【病院】																												
1	国保直営総合病院君津中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						492	125	20				637					
2	国保直営君津中央病院大佐和分院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		36	36				36					
3	医療法人社団明敬会重城病院																	21	42		21		42					
4	医療法人社団吉祥会加藤病院																	36	36				36					
5	医療法人社団邦清会木更津東邦病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		83	83				83					
6	医療法人社団明会高名清養病院																											
7	医療法人社団仁会萩原病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		112	112		272	272	272					
8	医療法人社団三友会三枝病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		58	58	60	30	30	148					6床廃止済（平成29年11月からの病室の改修工事による）
9	医療法人社団志仁会薬丸病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		69	69				69					
10	石井病院																											
11	医療法人社団養会上総記念病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		49	49		49	49	98					
12	医療法人社団美善会千葉美善病院																											
13	医療法人社団周晴会鈴木病院																											
14	医療法人社団新都市医療研究会「君津」会玄々堂君津病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		132	132		116	116	116					
15	医療法人社団重光会君津山の手病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					156	156	156					
16	医療法人社団栄陽会東病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		45	45				45					
17	医療法人社団三友会三枝病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		32	32				32					
18	社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		93	93	98			191					
【診療所】																												
19	医療法人社団重城産婦人科小児科																											
20	駒医院																											
21	医療法人社団望星会木更津クニック																											
22	医療法人社団健洋会森田医院																											
23	医療法人社団明朋会金山眼科																											
24	医療法人社団麗生会村田産婦人科クリニック																											
25	医療法人社団健誠会Kenjiニック																											
26	医療法人社団徳会福王台外科内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		19	19				19					
27	医療法人社団恒久会山口医院																											
28	医療法人社団曹川会そがわ医院																											
29	医療法人社団サキーマイル産院きみつ																											

注）「補助金活用予定」欄については、回復期リハビリテーション病棟等整備事業（回復期リハ、地域包括ケアへの転換）又は地域中核医療機関整備促進事業（地域の中核となる公的医療機関等のみ対象）の活用を検討している（又は現在補助を受けている）医療機関に○をつけています。

H29病床機能報告と必要病床数を比較し「過剰」となる機能を増床する場合の理由等

資料 1 - 3

【君津保健医療圏】

No.	医療機関名	H29病床機能報告と2025年の方針の比較						休棟等	理由
		高度急性期 (過剰)	急性期 (過剰)	回復期 (不足)	慢性期 (過剰)	計			
		2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2025		
1	医療法人社団明敬会重城病院		21	42		21	42	21	慢性期より急性期への転床

注) 各機能の過剰・不足は、平成29年度病床機能報告の集計値と2025年の必要病床数の単純比較であり、増床理由確認の目安としている。

「2017」欄は平成29年度病床機能報告の結果を、「2025」欄は各医療機関の2025年の見込み数を記載している。
機能転換、増床、再稼働の別によらず、「過剰」となる機能の病床数を増やす方針の医療機関を掲載している。

非稼働病棟（2018年7月1日時点）の今後の見通し等

資料 1 - 4

【君津保健医療圏】

No.	医療機関名	該当 病棟数	病棟の 病床数	今後の 見込み	(対応方針未定の項目については空欄)				理由
					対応予定時期	病床機能	入院基本料	診療科	
【病院】									
1	医療法人救仁会萩原病院	2	52	再稼働	2020年 1月	急性期	地域一般1	整形外科、外科、内科	安定した看護職員の確保ができなくなり、療養病床36床について非稼働と致しました。また、結婚、出産及び介護等の理由による退職により、看護基準を満たせなくなり辞退し、2階の一般病床も非稼働となりました。現在、看護職員の確保及び養成を推進しております。今後は、資格取得済みの職員の確保も行いながら、2020年の再稼働を行う予定です。また、療養病床36床については、介護医療院や併設型小規模介護老健施設への転換も含め検討しております。
2	医療法人互生会アグリハビリテーション病院	1	16	再稼働	2019年 4月	急性期	地域一般1	内科、耳鼻咽喉科	人員不足（医師、看護師）
【診療所】									
3	医療法人社団健誠会Kenクリニック	1	2	未定					対応出来る規模ではない。